

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画 事業化 事業 管理

政策名	5 安全な港	24年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港湾部 海務課長	
基本施策名	08 施設の安全性・信頼性の向上	事務事業	成果	コスト	連絡先	052-654-7880	
個別施策名	23 港湾施設の機能を維持・強化する	継続	維持	維持	連携課	事業担当、維持管理担当、港湾工 事事務所、工事課	
事務事業名	03 水域施設・係留施設の維持管理				事業期間	昭和26年度～継続	
目的	水域施設・係留施設を適切に維持・管理し、船舶が安全に着離岸及び係留できるようにします。					根拠 法令等	港湾法 港湾施設条例
概要	航路、泊地などの水域施設及び岸壁、係留浮標などの係留施設を巡視・点検し、経年劣化又は利用者による損傷・不良箇所を補修し、又は補修させます。					実施 義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
平成25年度の実施予定	効率的・計画的な巡視スケジュールの確立及び巡視日誌の記載内容を拡充することにより、より一層施設の現状把握に努め、必要に応じ適宜補修に努め、最低限の費用で施設を良好に維持・管理します。					関連 シート	

2 DO(実施)

平成25年度に実施した内容・結果	平成25年2月弥富ふ頭6号岸壁において船舶(タグボート)衝突により損傷した岸壁の復旧(平成25年8月原因により完了)、平成25年9月空見ふ頭50号岸壁においての船舶衝突より破損した防舷材、車止め及び岸壁の復旧(平成26年3月原因者により完了)、金城ふ頭防舷材取替等、さまざまな原因で損傷した港湾施設の補修を行いました。						
コスト(年度)	単位	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	25(予算)	備考(款項目節等)
事業費 計	千円	56,280	21,862	33,736	57,181	59,912	(款項目節)
一般会計	千円	56,280	21,862	33,736	57,181	59,912	(算出計算式)
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費 計	千円	8,962	12,749	12,362	12,936	10,618	(その他)
正規職員	人	0.75	1.35	1.15	1.15	0.95	
嘱託職員	人	0.60	0.30	0.60	0.60	0.60	
合計	千円	65,242	34,611	46,098	70,117	70,530	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	21	22	23	24	25	中間目標	25	備考(指標の算定方法など)	
修復が必要な係留施設及び泊地の修復率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	修復を行なった係留施設及び海中障害物を除去した泊地÷経年劣化又は利用船舶により損傷した修復が必要な係留施設及び海中障害物の除去が必要な泊地	
	実績	41.0	42.0	35.0	41.0	38.0				
	達成率(単年度%)	41.0	42.0	35.0	41.0	38.0				
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-				
良好な係留施設及び泊地率(%)	目標	100	100	100	100	100		100	修復を必要としない係留施設及び海中障害物の除去を必要としない泊地÷全ての係留施設及び泊地	
	実績	82.0	75.0	71.0	72.3	76.5				
	達成率(単年度%)	82.0	75.0	71.0	72.3	76.5				
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-				
平成25年度までを総括した 必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)					その他特記事項			
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		港湾管理者は港湾施設を良好な状態に維持する必要があり、利用者からも良好な維持管理が求められています。						
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		多くの港湾施設が老朽化しており、予算面からも目標の達成は困難な状況ですが、国、本組合の維持管理計画に基づく港湾施設の機能維持は今後も必要な事業です。						
	目標を達成したか?	<input type="checkbox"/> ○ <input checked="" type="checkbox"/>								
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×		補修に際しては、利用頻度や損傷具合により優先順位を付けるなど必要最低限の費用で実施し、原因者が判明している場合には、原因者に負担を求めています。						
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ <input type="checkbox"/> ×								

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			事故防止などの安全対策上不可欠であるため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
事故防止のため、今後も継続して事業に取組んでいきます。				